

クラブ連盟大会 茨城大会

農業クラブ茨城県連盟には、農業関係高校が八校所属し、農業を学ぶ生徒一七〇〇余名は、それぞれの学校の特色を生かしながら自主的・主体的に活動しています。

令和四年度第七三回関東地区学校農業クラブ連盟大会は、茨城県連盟が主体となり、水戸市を会場に企画と運営を担当することになりました。そこで県内で最も規模が大きく、農業教育を牽引する立場である本校が事務局を務めることになり、教員、生徒総出で本大会を成功に導きました。

本大会は、関東地区一都八県から地区代表の農業クラブ員や関係職員が一堂に会し、各種会議やプロジェクト発表会、意見発表会を通して、互いに日頃の研究成果を学び合い、また、交流の機会を通して親睦を深めることを目的としています。この目的を達成するために、大会ポスターからシンボル、お弁当にいたるまで本校生徒たちが企画、制作し、大会の充実を図るとともに、茨城県の農業を県内外にアピールしました。

コロナ禍で、徹底した感染症対策が求められる中で大会運営となりましたが、日頃の成果を十分に発揮し、実りある大会となりました。

大会ポスター

ポスター趣旨

畜産科二年



茨城の県花であるバラは、県章、県旗のいずれにもかたどられています。県民の心の象徴とされるバラを中心に、本県の特徴であるメロンや納豆の他、茨城空港や大洗、鹿島神宮や筑波山など、魅力ある茨城をいっぺんに感じてもらいたい！そんな思いを込めて描きました。

大会シンボルマーク

シンボルマーク趣旨

農業科二年



筑波山を背景に、県花であるバラと、茨城を連想する納豆、そして、上空に浮かぶ水玉は本県が産出額一位であるメロンやレンコンをイメージして描きました。また、天高く舞い、気持ちよさそうに歌うヒバリの声は、穏やかで優しい中に、力強さを備えています。そんなヒバリは、茨城の豊かな自然環境に調和し、私たちに希望を与えてくれる茨城の象徴です。今こそ声を上げ、この茨城の地から未来の農業を共に創造しましょう！

大会スローガン

「筑波の紫峰に見守られ
今に咲かせろ 農業の華」

「茨城の地から 未来につなげ！ 農業クラブ」

食品化学科 2年



茨城を表現したオリジナル弁当

大会式典